

科目名		ベーシックレッスン 2							年度	2025
英語科目名		Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年		ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員		恒枝賢治・早川治・松居悠太・野村大輔	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】										
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学び自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。										
【科目の概要】										
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンド、ヴォーカルとのアンサンブルなどのトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。										
【到達目標】										
A. アドリブ演奏の方法論を理解できる B. セッションにおける進行、方法論を習得できる C. DTMの基礎を習得できる D. 課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。 E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる										
【授業の注意点】										
この科目は開講曜日より担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価		レベル3 優れている				レベル2 ふつう				レベル1 要努力
到達目標 A		アドリブ演奏の方法論を理解でき、ミスのない演奏ができる				アドリブ演奏の方法論を理解できる				到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 B		セッションにおける進行、マナーを習得でき、ミスのない演奏ができる				セッションにおける進行、マナーを習得できる				到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 C		DTMの基礎を習得でき、簡潔に説明できる				DTMの基礎を習得できる				到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 D		課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				到達目標についてさらなる努力が必要
到達目標 E		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる				アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる				到達目標についてさらなる努力が必要
【教科書】										
ギター： エレキギターバックিংのアイデア”即戦力”135										
【参考資料】										
特になし										
【成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ベーシックレッスン 2				年度	2025
英語表記		Basic lesson 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1	課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3	仕上りの確認	各楽曲の仕上りを確認できる		
14	前期試験	合奏	1	課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2	他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3	演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1	フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2	ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3	今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	ベーシックレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎・堀越昭宏・麻生祥一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】									
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学び自由なアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。									
【科目の概要】									
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンド、ヴォーカルとのアンサンブルなどのトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。									
【到達目標】									
A. アドリブ演奏の方法論を理解できる B. セッションにおける進行、方法論を習得できる C. DTMの基礎を習得できる D. 課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。 E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる									
【授業の注意点】									
この科目は開講曜日より担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	アドリブ演奏の方法論を理解でき、ミスのない演奏ができる		アドリブ演奏の方法論を理解できる			到達目標についてさらなる努力が必要			
到達目標 B	セッションにおける進行、マナーを習得でき、ミスのない演奏ができる		セッションにおける進行、マナーを習得できる			到達目標についてさらなる努力が必要			
到達目標 C	DTMの基礎を習得でき、簡潔に説明できる		DTMの基礎を習得できる			到達目標についてさらなる努力が必要			
到達目標 D	課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる		課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる			到達目標についてさらなる努力が必要			
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる		アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる			到達目標についてさらなる努力が必要			
【教科書】									
ベース： はじめてのジャズベース									
【参考資料】									
特になし									
【成績の評価方法・評価基準】									
評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかにも思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ベーシックレッスン 2				年度	2025
英語表記		Basic lesson 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1	課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3	仕上がりの確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1	課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2	他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3	演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1	フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2	ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3	今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名		ベーシックレッスン 2							年度	2025
英語科目名		Basic lesson 2							学期	後期
学科・学年		ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 1年次	必／選	必	時間数	210	単位数	7	種別※	実習
担当教員		麻生祥一郎・山口岳・伊東かの子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン		
【科目の目的】										
演奏テクニック、スコアリーディング、アンサンブル能力を向上させるための実践的なアプローチの習得を目的とします。アンサンブルの授業ではジャンルの違う課題曲ごとにアプローチ方法を学び、バンドセッションではメンバーを交代しながら、常にバンド全体の音を意識して演奏することで、周りとの適切な音量のバランスやその曲に合った音色、バックিং等を学びアドリブを演奏できるためのスキルを習得します。										
【科目の概要】										
ミュージシャンとしての基礎力を身につけるため、基礎レッスンを行うとともに、音楽全般に関する基礎知識を学んでいきます。また、ソロやバンド、ヴォーカルとのアンサンブルなどのトレーニングを実施。各種オーディションを受けるにあたっての準備、進め方を学び、実践していきます。										
【到達目標】										
A. アドリブ演奏の方法論を理解できる B. セッションにおける進行、方法論を習得できる C. DTMの基礎を習得できる D. 課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。 E. アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる										
【授業の注意点】										
この科目は開講曜日より担当教員が異なります。専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック評価	レベル3 優れている				レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	アドリブ演奏の方法論を理解でき、ミスのない演奏ができる				アドリブ演奏の方法論を理解できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 B	セッションにおける進行、マナーを習得でき、ミスのない演奏ができる				セッションにおける進行、マナーを習得できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 C	DTMの基礎を習得でき、簡潔に説明できる				DTMの基礎を習得できる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 D	課題曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				課題曲1曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				到達目標についてさらなる努力が必要	
到達目標 E	アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができ、次の目標を設定できる				アンサンブル発表会でベストパフォーマンスができる				到達目標についてさらなる努力が必要	
【教科書】										
ドラム：Progressive Steps to Syncopation for the Modern Drummer										
【参考資料】										
特になし										
【成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を講師と合奏を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかにも思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ベーシックレッスン 2				年度	2025
英語表記		Basic lesson 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1	課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3	仕上がりの確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1	課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2	他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3	演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1	フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2	ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3	今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名		ベーシックレッスン 2				年度	2025
英語表記		Basic lesson 2				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1	課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3	仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3	進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1	各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2	音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3	演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1	課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2	楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3	仕上がりの確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1	課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2	他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3	演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1	フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2	ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3	今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等